

市報 やまぐち

2015

10/1

October
No.240

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp



第29回全国健康福祉祭やまぐち大会
ねんりんピックおいでませ!山口2015
平成27年10月17日(土)~20日(火)



合併
10周年
特集号

表紙 わくわくどきどきするまちに♪

山口市の10年

〈平成17年〜27年〉

これからの時代にふさわしい、より豊かでより魅力的なまちづくりを進めていくため、1市4町が平成17年に合併。これまで、各地域の個性を尊重し、山口県の文化、教育をリードしていく他、バランスの取れた産業構造や都市機能を備えた中核都市づくりを進めてきました。また、地域や事業者の方と協力し、市民の皆さんとともに新しい山口市を築いてきました。皆さんの印象に残っている出来事は何でしょうか。山口市の10年を振り返ります。

☎ 広報広聴課 083-934-2753

平成17年

【10月】県中部1市4町の合併により「新山口市」誕生

18年

【1月】第一回「山口お宝展」開催
【2月】トリノオリンピックで女子フィギュアスケート荒川静香選手がアジア勢初の金メダル
【3月】やまぐち電子申請サービス開始
【4月】徳地地域の大原湖周辺「森林セラピー基地」に認定／地域包括支援センター開設
／徳地中学校開校
【5月】市章、市民歌市の花（菜の花・木（いちよ）・花木（さくら））を決定
【11月】第21回国民文化祭・やまぐち2006開催

19年

【1月】「山口市民憲章」制定／市内各地域合同による初の成人式開催
【4月】消費生活センター開設
【8月】西京スタジアムで初のプロ野球開催
【10月】総合計画策定

24年

【1月】テルモ山口株式会社が山口テクノパークに進出決定
【3月】「地福のトイトイ」が国の重要無形民俗文化財に指定／都市公園「高田公園」の名称を「井上公園」に変更
【4月】第一回湯田温泉スリッパ卓球大会開催
【5月】第63回全国植樹祭開催
／東京スカイツリー開業
【6月】子育て支援拠点施設を併設した嘉川地域交流センター開設
【8月】石川佳純選手ロンドンオリンピックで銀メダル、初めての山口市民栄誉賞授与
【12月】和食がユネスコ「無形文化遺産」に登録決定

郵政三事業の民営化

【2月】県立大学と包括的連携・協定協力を締結
【4月】阿知須「いぐらの館」公開開始
／後期高齢者医療制度開始
【5月】ふるさとやまぐち寄附金開設
【6月】不燃物中間処理センター稼働
【9月】第一回ゆめさくら廊開催
【11月】小郡図書館開館

25年

【1月】毎週木曜の時間外の住民票、戸籍証明書関係、印鑑登録証明書等発行業務開始
【2月】福島市と災害時における相互応援に関する協定を締結
【4月】地域づくり支援センター開設
／阿東図書館を併設した阿東地域交流センター開設
【5月】高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用助成開始
／チャレンジデー2013に初参加
【7月】山口・島根豪雨災害発生
／第16回日本ジャンボリー・第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー開催
【10月】第一回湯田温泉酒まつり開催

26年

【1月】パスポート窓口開設
【3月】「あべのハルカス」全面開業
【4月】障がい者基幹相談支援センター開設
／消費税8%スタート
【5月】シティセールス推進本部開設
【8月】平成25年豪雨災害により一部運休していたJR山口線が全線運転再開
／山口県貨物倉庫株式会社進出により山口テクノ第2団地完成
／広島市北部で土砂災害発生
【9月】タブレット端末活用授業開始
【10月】こども医療費助成制度開始
【11月】レノファ山口FCがJ3に参入決定

27年

【1月】新山口市、旧阿東町の合併から5年
【7月】第23回世界スカウトジャンボリー開催
【8月】一の坂川交通交流広場完成
【10月】山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町の合併から10年

23年

【3月】新山口駅南北自由通路および新山口駅橋上駅舎の工事の施工に関する協定をJR西日本と締結
／東日本大震災発生
／九州新幹線全線開業
【4月】中央消防署徳地

22年

【1月】阿東町との合併、阿東総合支所開設
【4月】南消防署秋穂出張所開所
／秋穂図書館を併設した秋穂地域交流センター開設
【5月】やまぐちサッカー交流広場開場
【6月】防災メール配信サービス開始
／こども手当支給を開始
／小惑星探査機「はやぶさ」地球へ帰還

21年

【2月】新山口駅ターミナルパーク整備基本計画策定
【3月】第一回やまぐち新進アーティスト大賞、やまぐちACS賞贈呈
／高速道路土日祝日1000円、ETCが普及し始める
【4月】協働のまちづくり条例施行
／市内24カ所の公民館を「地域交流センター」とする
／コンビニエンスストアでの市税等納付の受付開始
【5月】裁判員制度開始
【7月】中国・九州北部豪雨災害発生
【11月】南消防署阿知須出張所開所
／韓国・昌原市との姉妹都市協定を締結

・ 山口市の出来事 ・ 世の中の出来事



国民文化祭・やまぐち 2006

国民体育大会

第23回世界スカウトジャンボリー

国民文化祭・やまぐち 2006 や国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、第23回世界スカウトジャンボリーなど、活気と笑顔溢れるイベントが多く行われ、本市の魅力を全国・世界に発信した。



大内小学校

平成19年に山口市学校施設耐震化推進計画を策定。これに基づき学校施設の耐震改修を進めた結果、平成21年に74.4%だった耐震化率が平成27年度当初99%に上昇した。



朝田浄水場 (H21)

阿東徳佐鍋倉付近 (H25)

平成21年に中国・九州北部豪雨が発生し、全壊2戸・床上浸水418戸・断水3万5,377世帯など、多くの市民が被災。平成25年には、山口・島根豪雨が発生し、阿東地域が甚大な被害を受けた。



阿東町との合併

1市4町の合併

平成17年10月に山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町が合併。さらに、平成22年1月に阿東町と合併し、県内で最も広い市域となった。

10年間の「動き始めた」を大調査！

山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町・徳地町が合併して10年。そして、阿東町と合併して5年。時代の流れと共に山口市も変化してきました。ここでは、この10年間で新しく始まったことをピックアップしてみました。

☎ 広報広聴課 ☎ 083-934-2753
協力 (株) AKS

わたしと一緒に
振り返りましょう！

私たちのまちにきたい。そんな人が増えてきた

移住定住

「ふわー、空気が澄んでいて気持ちいいー。」
山口は瀬戸内の海や森林、田園風景も広がる自然いっぱい。水もきれいで空気もおいしいし、ここで採れる山海の幸はさらにおいしい。県外のイベントの後、山口に帰ってきて山口の自然に包まれると、心も体も癒されます。

こんな山口に魅力を感じ、空き家バンクを活用して（徳地や阿東地域に）移住して来られた方が約150人もいます。これには、山口を大切に思い移住者を受け入れる人々の努力が背景にあるんです。

力の再発見や情報発信、伝統継承といった取り組みを行っています。地域おこし協力隊の受け入れは、平成25年から始まり、今では徳地地域に4人、阿東地域に2人、今年の7月には南部地域に2人加わりました。若い移住者が山口を元気にしています。これからの山口に期待が膨らみます。



徳地の地域おこし協力隊は、徳地和紙の継承や健康茶の販路拡大に励んでいます。



したお
下尾みう

平成12年山口市生まれ。平成25年に、全都道府県代表からなるAKB48チーム8の山口県代表として加入。ねんりんピックの公式サポーターとして活躍中。尊敬する先輩は、大島優子、山本彩。

発信力

イベントを通じて
まちににぎわいが
生まれてきた

この10年間には、「山口国体」や「世界スカウトジャンボリー」など大規模なイベントがありました。ほかにも、地元オリジナルの「湯田温泉スリッパ卓球大会」、「ツール・ド・山口湾」、「湯田温泉酒まつり」、「12月、山口市はクリスマス市になる。」など、これらの個性豊かなイベントも、もうおなじみです。

楽しく参加しやすいもので、北は北海道、南は九州からたくさんの方が参加があります。このようなイベントの趣旨が評価され、地域活力を生み出す全国のイベントを表彰する、第17回ふるさとイベント大賞の奨励賞にも選ばれたほどです。



磯の香公園 (秋穂)

方々の笑顔に参加者の疲れも吹き飛びます。

湯田温泉酒まつりは、平成25年から始まりました。市内の金光酒造(嘉川)と新合酒造(徳地)をはじめ、県内の蔵元のお酒が大集合し、湯田温泉のグールメや足湯を楽しみながら飲み比べができます。山口のお酒は全国的にも人気で、回を重ねるごとに県外からのお客さんも増えているということです。

そして「12月、山口市はクリスマス市になる。」は平成21年から始まりました。日本のクリスマス発祥の地としてクリスマスを祝うために始まったもので、亀山公園ふれあい広場に設置される、平成3年に焼失した旧サビエル記念聖堂を模した青色のイルミネーションが印象的です。私も毎年家族と一緒に楽しくイベントの二つです。



魅★力

山口を全国にアピール 山口の新戦力たち

中原中也、大内文化、明治維新に関する史実など、山口の魅力といえは歴史や文化に関するものが多かったですよね。でも、これまでの10年は山口の魅力を新たに創造してきたように思います。

実は私、小学校の頃少しサッカーをしていたんです。だからレノファ山口FCにはとても注目しています。今やテレビや雑誌、ポスターなど、レノファを見ない日は無い程有名になりましたよね。Jリーグ昇格という

一つの目標を成し遂げるために、ファンの皆さんや支えている方々が一致団結し支えてきた10年間でした。山口のプロスポーツといえば「レノファ」と、他県の方に自慢できる存在になったのではないのでしょうか。

そして、私も含め、山口市出身のアイドルがたくさん生まれた10年だったように思います。「東京パフォーミングスドル」や「山口活性学園」などたくさんさんのグループに山口市の女子が所属し、全国で活躍しています。また、マスコットキャラクターも

増えてきました。ちよるを始め、各団体や地域の象徴的なキャラクターは全国的にも人気で、全国各地のイベント会場などで山口をPRしています。私たちが活躍することで市外や県外の方々に山口が注目してもらえます。地域活性化の新しい流れですよね。私もAKB48の一人として、県外に行ったときは山口の歴史・文化や湯田温泉、そして新たな魅力をもっと積極的に発信していこうと思います。

この会場や応援してくれるサポーターがあったからこそ、今のレノファがあるんですよね。



やまぐちサッカー交流広場 (徳地)



ちよるは、平成23年に行われた国体のマスコットキャラクターとしてデビューし、今は山口県PR本部長。みんなイベントに引っ張りだこですよね。



おごりん ちよるる ぶちまる 湯田ゆう太・ゆう子 おおちゃん うっち〜

一の坂川交通交流広場 (山口)

安心安全

災害の経験が 防災や減災への意識を高めた

次に振り返るテーマは「安心・安全」です。私たちが生きていく上でなによりも重要なテーマです。

実は私がまだ小学3年生の時、私の家の周りでもとても大きな災害がありました。平成21年7月の中国・九州北部豪雨です。早朝から降り続いた雨は学校へ行く時間になってもやむことがなく、道路が川のように

なったのを覚えています。平成25年には阿東地域でも甚大な被害がありました。私もテレビなどで見て、平成21年の災害を思い出しました。阿東地域を襲った大雨はみんなの住んでいる住宅や農地だけでなく、市民の足である鉄道も襲いました。しかしJR西日本が総力を挙げて復旧作業をしたおかげで、3年しかかると言われていた工事がわずかに1年でできました。

9月の東日本豪雨でもあったように、自然の驚異を前に、人間はなす術がありません。防災メールでの避難情報や防災行政無線での避難の呼びかけが始まっています。いち早く情報をキャッチして早めの避難を心がけたいですね。



(上写真) JR 鍋倉駅付近の鉄橋をSLが走る。平成26年8月23日から全線運転を再開した。(下写真) 豪雨により流されたJR鍋倉駅付近の鉄橋。線路が途中で折れていた。

突然の豪雨がりんご園を襲った



平成25年7月28日、阿東地域で豪雨が発生し大きな被害がありました。徳佐の大庭りんご園では120アールのうち60アールが被害を受け、りんごの木200本が根こそぎ流されました。りんごの販売店も流され、大庭さんの自宅は水に浸かったそうです。大庭さんは国や県、市から緊急災害対策として補助を受け、園内に溜まった土を除去したり、りんごの木が流された場所に土を盛ったりするなど、少しずつ復旧にとりかかりました。昨年の春には、国と県の支援を受け、りんごの苗を140本

植え付けしましたが排水が悪く、2割が生育不良でした。新しく植え付けた苗にりんごの実がなるまで5年もかかるそうですが、災害を乗り越え今もたくましく実を付けるりんごの木に復興への希望を感じました。大庭りんご園では、今年もりんごの木がたくさんの実を付けています。



現在 (右写真と同じ場所から撮影)



災害当時 (大庭さん撮影)

中核都市

福岡と広島に挟まれた山口。私たち若い世代にも魅力的なまちをつくるという「こと」で、広域県中核都市づくりが進んでいます。

山口県の陸の玄関、新山口駅は、駅を南北に行き来できる南北自由通路がこの度完成し、壁面には本物の植物が植えられています。自然が豊かな山口市を象徴するような通路で、とても印象的です。新山口駅周辺は、小郡都市核の中心として、新しいま

集まる力が 生まれようとしている

ちの姿が目に見えてきた10年でした。

そして、もう一つの都市核が山口都市核。県内最大の宿泊拠点の湯田温泉に整備した、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」は、市内外の皆さんからとっても親しまれています。特に、趣のある足湯でいただくスイーツはお勧めです。また、近くにある井上公園に何遠亭を再現するなど、平成30年の「明治維新150年」に向けた整備も進んでいます。ほかに、大内文化ゾーンの街なみ整備や中心市街地内にあるマルシェ中市、どうもんパークの施設整備など、みんなが集まれる基盤整備が進んでいます。

この二つの都市核が核となり、山口市全体の都市力をアップさせ、ひいては山口県の中



「狐の足あと」の屋外足湯

心的な役割を果たしていくと、福岡や広島にも負けないまちになりますよね。

そしてもう一つ。若い人が地元山口市で安心して働けるよう進めてきたのが企業誘致です。この10年間で40社の企業立地が決まり、1700人以上の雇用が増えました。企業の皆さんも地元山口市の人を優先して雇用していただき、とてもありがたいです。市内の産業団地は、山口テクノ第2団地が完売し、残り区画がわずかの状態となり、企業誘致もかなり進んだ10年でした。

ちょっと難しい言葉もあったけれど、山口市をもっと魅力のあるまちにしたいと、いろいろな人が頑張っていることがよく分かりました。私も、ふるさと山口市のためにできることがあれば、精一杯チャレンジしていこうと思います。

やまぐちの名産品を発見しちゃおう！

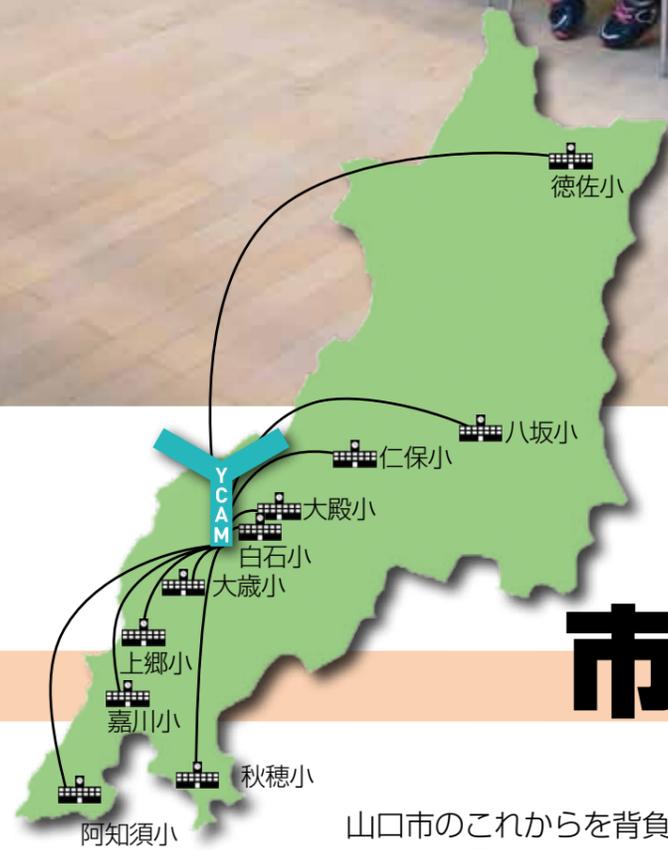
阿知須へいまおる、車エ、やまのいも、りんごなど、合併したことで山口の名産品と自慢できる物がたくさん増えました。今回の取材で食べてもおいしかったのが、この「かんぶつ」といわれるドライフルーツ。私がいただいたのは、地元でとれた梨を特殊な乾燥機で乾燥させた物です。パリパリとした食感ですが、かじると梨の甘みが口の中に広がり、猛暑の中の撮影でしたがとっても爽やかな気分になりました。道の駅「長門峡」や道の駅「仁保の郷」では、その土地でとれたものを使った「かんぶつ」が売られています。全種類食べてグループの友達に紹介したいと思います。



道の駅「仁保の郷」にて



南北自由通路は10月3日から通れます。また新山口駅周辺の再整備の全体的な完成は平成32年に予定されています。山口市民はもちろん、陸の玄関である新山口駅に降り立ったお客さんを、山口の緑でおもてなししたいですね。



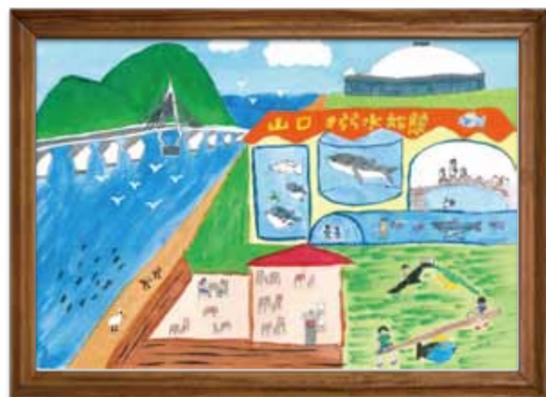
市長×10歳

山口市のこれからを背負って立つ子どもたち。彼らは将来の山口市にどのような思いを描いているのでしょうか。山口市と同じ10歳になった子どもたち10人と市長が「やまぐちのみらい」について語りました。
問 広報広聴課 ☎ 083-934-2753

平 成17年に生まれ、10年間の成長を山口市と共に歩んできた子どもたち10人が、8月17日、山口情報芸術センター「YCAM」に集合しました。
彼らが手にしているのは、「やまぐちのみらい」をテーマにした絵。色鉛筆や絵の具で描かれた、10人それぞれ思いが詰まった絵を見ながら、山口市役所に入庁して10年目の職員3人をコーディネーター役として加え、お互いに意見や感想を交わしました。そして、話し合いの中で自分の思いを深めていき、一人ひとりが考える「やまぐちのみらい」について、市長へ発表。10人のユニークな話を聞きながら、市長も子どもたちと一緒に語り合いました。将来の山口市について

子どもたちが語る

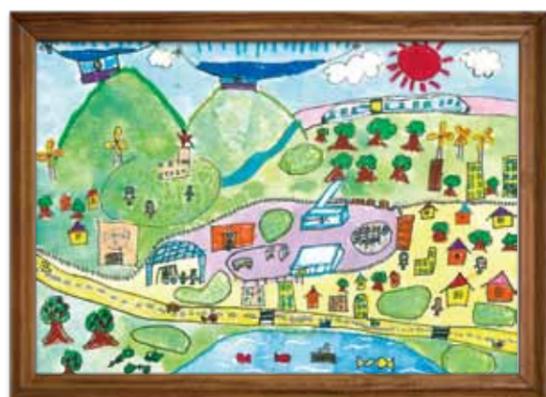
やまぐちのみらい



『山口きらら水族館』

武田 周防大橋の近くに、水族館や公園、レストランができて、たくさんの人が遊びに来るようになったらいいなと思います。周りに、きれいな川や海に魚が泳いでいて、水鳥が遊びに来る。そんなふうになったらいいなと思います。

市長 きれいな海が近くにあって、水族館ができる。これはもうリゾート地ですね。そうなるのと、たくさん観光客が山口市を訪れるようになり、とてもにぎやかになるでしょう。この絵の中にあるレストランでは、地元でとれたおいしい野菜や魚が食べられるといいですね。



『やさしさいっぱい! エコタウン』

田中 緑とやさしさにあふれ、安心・安全な工夫があるまちになってほしいです。雨水を集める機械や、カード式でポイントをためられるリサイクルボックス、屋根つきの公園などを考えました。環境にやさしいまちになってほしいです。

市長 風力発電がありますね。太陽光発電もそうです。今からはますます自然エネルギーを利用した発電が大切になります。雨水を溜めると、節水にもつながりますし、大雨のときは災害も和らげることができるともいえます。山口市は環境にやさしいまちづくりをしていて、いずれエコタウンになっていくと思います。



『つながる小学校』

中田 市内すべての小学校が、ネットワークでつながって、他の小学校の人の発表をみたり、会話できるようにしたいなと思います。また、八坂小では重源太鼓という和太鼓を3年生から6年生のみんなでやっていますが、伝統的なものは、この先いつまでも残していけたらと思います。

市長 小学校がネットワークでつながるのは、もしかしたら10年後には実現しているかもしれないですね。いろいろな学校と結びついて、授業や放課後どんな遊びをしているか、話ができる楽しんでいるでしょう。それから、伝統文化は残していかなければいけない。重源太鼓がんばってください。

上郷小学校
たけだ ゆうき
武田 悠希 さん



水族館ができるといいな

お気に入りの場所 瑠璃光寺
将来の夢 プロテニス選手

嘉川小学校
たなか りさ
田中 梨沙 さん



環境にやさしいまちに

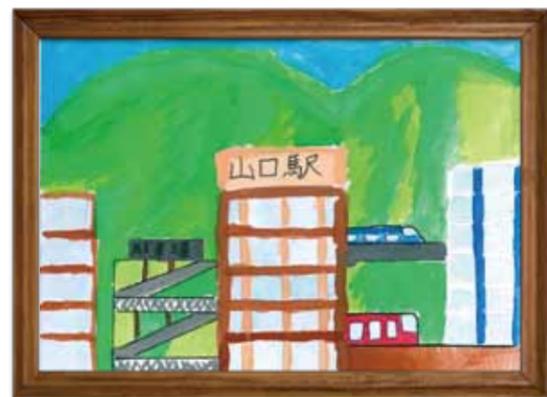
お気に入りの場所 南部運動広場
将来の夢 保育士

八坂小学校
なかた このは
中田 香葉 さん



ICTと伝統文化 両方大事

お気に入りの場所 やまぐちサッカー交流広場
将来の夢 自衛官



『都会と自然のまち』

赤木 現在の豊かな自然を残したまま、便利さが増し、人が集まるようなまちになってほしいです。人が集まれば、山口駅がビルになったり、モノレールが走ったりするのではないかと思います。でも、急に発展をせずに、少しずつ都会化していったらいいんじゃないかなと思います。

市長 山口駅が駅ビルになるいいですね。交通網が発達すると、人も集まってにぎわいが生まれます。この絵で印象的なのは、便利ながらも周りは山に囲まれているところですね。自然と都市が融合したまちは、とても魅力的ですね。



『みどりあふれるまち』

金澤 私の家の前には山と田んぼとキララドームがあります。私はこの景色が大好きです。でも、将来ビルや工場が建ち、この風景が変わるかもしれません。大人、子どもみんなで田んぼや畑を手伝い、そこでとれたお米や野菜を食べ、元気になれるといいなと思います。

市長 まちが発展しても、農業は大事にしないといけません。地元でとれたものを食べるのが、新鮮が一番おいしいですよ。今、おじいちゃんやおばあちゃんが一生懸命命守っている田んぼや畑を、みんなで助けていかなければいけませんね。



『自然がいっぱいみな笑顔』

斉藤 私の住んでいるところは、山の水がとてきれいで、青空、鳥や虫の鳴き声が聞こえてきます。生活はこれから便利になっていくだろうけど、この自然は、ずっと続くように願っています。そして、大人も子どももお年寄りも、みんな笑顔で暮らせるまちにしたいです。

市長 山も野原も緑がいっぱいですが、緑が豊かだと笑顔になります。この絵からは、家族がとも仲良く暮らしている様子が見えます。山口市みんながこういふふうに、手をつないでいこうなまちにしたいですね。

白石小学校
あかぎ じん
赤木 尋 さん



自然と都市が ゆっくり融合

お気に入りの場所 山口駅
将来の夢 プロサッカー選手

阿知須小学校
かなざわ かすみ
金澤 香澄 さん



地元のお米、野菜で元気に

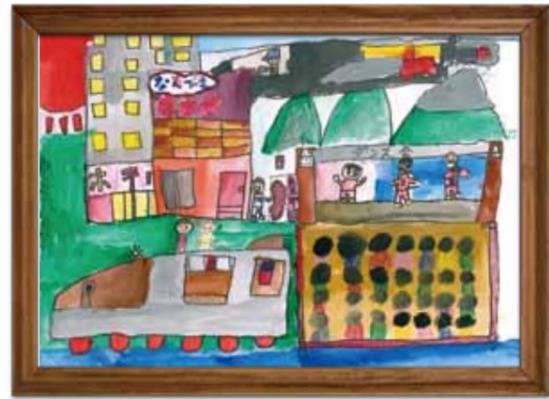
お気に入りの場所 きららドーム
将来の夢 保育士

徳佐小学校
さいとう もね
斉藤 百音 さん



自然がずっと続きますように

お気に入りの場所 小学校
将来の夢 助産師



『なんでもありなまち』

和田 ほしいものが何でも売っている店、お風呂とベッド付きの自動運転ができる自動車や、食べられるおかしの家、壊れないロボットなど、便利で不思議なものがたくさんある「なんでもありなまち」ができるといいなと思います。

このはユニークですね。自動運転の自動車ができれば、移動が楽になって、いろいろな所から人が集まりやすくなるんでしょうね。この絵に描いてあるたくさんアイデアが実現するいいですね。それからダンス会が開かれていますね。若者が集まってきてくれます。

秋穂小学校
わだ あきと
和田 空斗 さん



考えたことが
かなうといいな

お気に入りの場所 小学校

将来の夢 走って日本一周



『みらいにつづくまちなみ』

二宮 商店街に人がたくさん集まるように、楽しい名所ができた方がいいなと思います。便利なものもできてほしいけれど、今のまちがとも好きなので、あんまり変わってほしくないです。

ある。今のまちが好きなんです。このまちなみを残しながら、にぎやかになった方がいいですね。商店街にたくさん人が来てくれるように、お祭りなどいろいろなアイデアを考えて、みんなが楽しんで集えるようなまちにしたいですね。

大殿小学校
にのみや
二宮 あみ さん



商店街が
にぎやかに

お気に入りの場所 榎野川

将来の夢 小学校の先生

表紙 わくわくどきどき
するまちに♪

表紙の写真は、「子どもたちが語るやまぐちのみらい」が終了した後、参加した子どもたちとYCAMの1階ホワイエで撮影したものです。ここは9月27日まで約2カ月に渡って、展覧会「Think Things」が開催された場所です。閉校になった学校や使われなくなった公民館から建具や用具を調達し、組み立てられた不思議な空間。そこに置かれた見たことのない「あそび道具」。子どもたちの自由な発想で、数え切れない程の、新しいあそびが生まれました。

ここYCAMでは、コログル公園シリーズなど、私たちが幼い時に経験し得なかった、多彩な刺激を子どもたちに提供し続けています。こうして感性を磨かれた彼らが、大人になって将来の山口市をつくっていくのです。考えただけでほら、わくわくどきどきしてきますよね。

問い合わせ
広報広聴課 ☎ 083-934-2753

わた なべ し ちょう
渡辺 市長



**みんなやまぐちが
大好きなんです**
子どもたちが一生懸命に描いてくれた絵、そして語ってくれた未来への思い、感動しました。我々大

人では思いもよらない、すばらしい考えをたくさん持っていますね。みんなに共通しているのが、今の山口市をとても好きでいてくれること。まちなみもそうですが、特に山や海などの豊かな自然をとっても大切に思ってくれていることが印象的でした。これから、どんな科学技術は進歩していくでしょう。生活は便利になり、ま

子どもたちが伝えてくれた、たくさんアイデアを大切にしながら、美しく、誰もが住みやすい山口市を、将来この子どもたちにバトンタッチできるように、これからの市政に取り組んでいきたいと感じました。



『スポーツがさかんなまち』

間田 いつでも、誰でも困った時に相談に行ける「住宅病院」というのを考えました。また、水陸空を移動できる自動車が發明され、いろんなところへ行けたらいいと思います。そして、けんかがなく、スポーツがさかんなまちなればいいなと思います。

市長 「住宅病院」は、医療と介護だけでなく、みんなと仲良くするにはどうすればいいのかわからない相談もできるんですね。すばらしいアイデアだと思います。また、スポーツが盛んになれば、みんな元気になります。健康長寿なまちなみにつながります。

大歳小学校
まだ さくと
間田 朔人 さん



スポーツで
元気なまちに

お気に入りの場所 瑠璃光寺

将来の夢 プロ野球選手



『笑顔あふれるケーキ屋さん』

米 みんながなりたい職業になれるまちになってほしいです。いろんな仕事のプロの人が、定期的このまちに訪れ、たくさん勉強ができるようになると思います。そして、わたしはパティシエになって、ケーキ屋さんを開き、みんなを笑顔にしたいなと思います。

市長 このケーキはおいしそうですね。山口でこれだけのいろいろな使いながら、ケーキを作りたいですね。そして、たくさんの人に食べてもらって、笑顔になってもらう。大人になったらぜひお店を出してください。必ず食べに行きます。

仁保小学校
よね わ か な
米 和香菜 さん



自分の夢が
かなうまちに

お気に入りの場所 KDDI山口衛星通信センター

将来の夢 パティシエ

10月 イベント 11月 カレンダー



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)	開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)
		3 (土)	山口市誕生10周年記念フェスティバル (白石) 総務課 (☎ 083-934-2908)
		4 (日)	新山口ゆめフェスタ (小郡) 実行委員会 (☎ 083-973-4274)
			岩戸神楽 (小郡) 岩戸の舞保存会 (☎ 083-972-6333)
			道の駅「あいお」20周年記念イベント (秋穂) 山口県央商工会秋穂支所 (☎ 083-984-2738)
		11 (日)	森カフェ～徳地の森の宝探し～ (徳地) 森の案内人の会事務局 (☎ 0835-52-1122)
			山口市民文化祭(～11月1日) (白石) 山口文化協会 (☎ 083-934-2718)
		31 (土)	アートふる山口(～11月1日) (大殿) 実行委員会 (☎ 083-920-9220)
			あいお祭り (秋穂) 実行委員会 (☎ 083-984-5333)
			あいお花火まつり (秋穂) 山口県央商工会秋穂支所 (☎ 083-984-2738)
		11/1 (日)	あじすふれあいフェスティバル (阿知須) 阿知須地域交流センター (☎ 0836-65-2022)
			阿知須文化祭(～3日) (阿知須) 阿知須地域交流センター (☎ 0836-65-2022)
			徳地フェスティバル (徳地) 実行委員会 (☎ 0835-52-0217)

企画展「維新前夜～近世山口の文化力」(～25日) (白石) 歴史民俗資料館 (☎ 083-924-7001)

狐の足あとギャラリー「大自然が語りかける"生"」(～31日) (湯田) 観光課 (☎ 083-934-2810)



企画展「毛利公と菜香亭」(～11月8日) (大殿) 山口市菜香亭 (☎ 083-934-3312)

企画展「鑄銭司発掘50年」(～平成28年2月21日) (鑄銭司) 鑄銭司郷土館 (☎ 083-986-2368)

企画展Ⅱ「中世の住んだ町ー新宿」(～平成28年4月17日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)

第28回全国健康福祉祭やまぐち大会
ねんりんピックおいでませ!山口2015
平成27年10月17日(土)～20日(火)

山口市開催スポーツ交流大会

会場：やまぐちリフレッシュパーク

卓球 10月18日～19日
ソフトボール 10月18日～20日

会場：山口南総合センター

ソフトボール 10月18日～19日

会場：維新百年記念公園

サッカー 10月18日～19日

会場：山口きらら博記念公園

ゲートボール 10月18日～19日
水泳 10月18日～19日

☎ ねんりんピック推進室 ☎ 0836-65-4411

レノファ山口FC 県内の試合日程

10月4日(日) 13時から下関陸上競技場
VS SC相模原(神奈川県)

10月25日(日) 19時から維新公園
VS AC長野パルセイロ(長野県)

※試合観戦には入場料が必要です。

☎ レノファ山口FC ☎ 083-941-6792

空は深く澄み渡り、日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。

さて、今年、山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町が合併し、新たな「山口市」が誕生してから10周年、阿東町との合併から5周年という記念すべき節目を迎えました。

これまで、それぞれの地域の歴史や文化といった誇りを大切にしながら、市民の皆様が心を一つに新市のまちづくり積極的に参加していただくため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。皆様の温かい御支援と御協力のお陰により、一步一步、その歩みを進め、新市としての姿が実感でき、目に見える形になってまいりました。

今後とも、まちのにぎわいと農山漁村の美しい自然が調和した環境の中で、若い人たちが夢をもつ働き、子ども達の元気な声が聞こえ、そして高齢者をはじめ市民の皆様がいそいそと、安心して暮らせる、そうした「定住実現都市 山口市」を目指し、市民の皆様とともに「次なる10年」への第一歩を踏み出したいと考えています。

山口市長 渡辺純心

あしたへ
トライ
合併10周年